

## スミセイ「親孝行アンケート」

一番の「親孝行」は『心配させない』『元気である』

住友生命保険相互会社

### <はじめに>

いよいよ夏の帰省シーズンを迎え、久しぶりに親と顔を合わせるという方も多いのではないのでしょうか。住友生命では、「親孝行」に関するアンケートを実施しました。以下は、その集計・分析結果です。

### ■ 調査概要 ■

- ◆ 調査期間 : 2012年6月23日～30日
- ◆ 調査方法 : インターネット応募による自由記入方式
- ◆ 調査対象 : 2,000人(全国の男女各1,000人)
- ◆ 有効回答 : 1,910人

### <有効回答者の内訳>

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	40	215	373	215	93	936 (49.0)
女性	76	311	365	161	61	974 (51.0)
合計 (%)	116 (6.1)	526 (27.5)	738 (38.6)	376 (19.7)	154 (8.1)	1,910 (100.0)

人	男性	女性	エリア	合計
東日本	649	640	北海道、東北、関東、東海、 甲信越・北陸	1,289 (67.5%)
西日本	287	334	近畿、中国、四国、九州・沖縄	621 (32.5%)

## < 要 約 >

<問1> あなたにとって一番の「親孝行」とは何ですか？

- ◆一番の「親孝行」は『心配させない』『元気である』『会う』  
お金やモノよりも“安心”が何よりの親孝行

<問2> あなたの親孝行度は何点ですか？

- ◆全体平均は“あまりしていない”の「49.5点」  
20代は「43.2点」に対し、50代は「52.4点」と年代別で差

<問3> あなたの子どもの親孝行度は何点ですか？

- ◆全体平均は“ある程度している”の「65.8点」  
20代・30代では“70点超”の高得点と子どもに甘い！？

<問4> あなたは、この一年間で親孝行のためにいくら使いましたか？

- ◆親孝行の費用は年間「13万7,215円」、一方で「0円」も約3割

<問5> 問4は、主に何のための費用ですか？

- ◆親孝行費の用途は『贈り物』が圧倒的トップ、次いで『食事』『帰省』  
20代は『贈り物』が約半数、60代では『供養』が2位に

<問6> 親孝行をしていそうだと思う有名人は誰ですか？

- ◆1位 関根麻里さん、2位 イチロー選手、3位 ベッキーさん

<問7> 今までで最も喜んでもらった

または、してもらって嬉しかった親孝行のエピソードを教えてください。

- ◆「孫が誕生した時、名前を付けてもらった」（40代・男性）  
「初めての給与で、母の日に鉢植えのカーネーションを送ってくれた」  
(60代・女性) など

＜問1＞ あなたにとって一番の「親孝行」とは何ですか？（フリーアンサー／複数回答）

位	全体	%
1	心配させない	19.6
2	元気である	18.6
3	会う	13.7
4	長生きする	12.9
5	孫とのふれあい	7.0
6	会話する	5.6
7	自立する	4.3
	同居する	
9	面倒をみる	4.2
10	旅行・レジャー	3.3
11	気遣う	3.2
12	そばに居る	1.5
13	要望を叶える	1.4
14	金銭的な援助	1.3
15	お墓参り	0.9

位	男性	%	位	女性	%
1	元気である	18.4	1	心配させない	22.0
2	心配させない	17.1	2	元気である	18.8
3	長生きする	16.0	3	会う	15.6
4	会う	11.8	4	長生きする	9.9
5	孫とのふれあい	7.5	5	会話する	6.9
6	同居する	4.5	6	孫とのふれあい	6.5
7	会話する	4.3	7	自立する	4.8
8	面倒をみる	4.0	8	面倒をみる	4.5
9	自立する	3.8	9	同居する	4.2
10	気遣う	2.7		旅行・レジャー	

位	20代	%	30代	%	40代	%	50代	%	60代以上	%
1	心配させない	23.3	心配させない	19.0	元気である	20.5	心配させない	20.2	心配させない	23.4
2	自立する	12.1	元気である	17.1	心配させない	18.3	元気である	19.1	元気である	20.8
3	長生きする	11.2	長生きする	12.7	会う	15.4	会う	18.4	会う	11.7
4	元気である	8.6	孫とのふれあい	12.0	長生きする	14.8	長生きする	12.2	会話	10.4
5	孫とのふれあい	6.0	会う	10.8	孫とのふれあい	7.3	会話	8.2	長生きする	7.1
	面倒をみる	6.0								

◆ 一番の「親孝行」は『心配させない』『元気である』『会う』  
 お金やモノよりも“安心”が何よりの親孝行

全体では、1位『心配させない』19.6%、2位『元気である』18.6%という結果となりました。親に“安心”してもらうことが何よりの親孝行のようです。

さらに3位『会う』13.7%、4位『長生きする』12.9%と続き、『金銭的な援助』1.3%、『贈り物』0.6%（全体16位）といった物的な親孝行は下位となりました。

男女別では、男性のトップは『元気である』18.4%でした。3位には『長生きする』16.0%がランクインしていることから、特別なことは何もしないが健康に過ごすことが大切だと考える傾向にあるようです。一方、女性は、3位『会う』15.6%、5位『会話する』6.9%などが上位にきていることから、積極的なコミュニケーションを重要視していると言えそうです。

年代別では、『心配させない』が40代を除く年代でトップとなりました。20代では『自立する』12.1%が2位となっているのが特徴的です。また、若い世代（20～40代）では『孫とのふれあい』がトップ5入りしています。

## 《全体TOP10のコメント》

### ■ 1位『心配させない』

「心配をかけないで、平凡でいいから地道に生活すること」 (50代・女性)

「普通に生きること。他人に迷惑をかけない」 (30代・男性)

「自分が幸せで、いつも笑っていること」 (40代・女性)

### ■ 2位『元気である』

「家族みんな仲良く元気であること」 (30代・女性)

「両親に自分達家族が元気だとまめに近況を伝えること」 (50代・女性)

「健康で、日々はつらつと生きること」 (70代・男性)

### ■ 3位『会う』

「まめに実家に顔を出し、様子を見てあげる事」 (40代・女性)

「季節ごとに帰省すること」 (60代・男性)

「今は病院に入院しているので お見舞いに行くこと」 (60代・男性)

### ■ 4位『長生きする』

「特別なことは何もしない。単純に親より長く生きることだと思います」 (30代・男性)

「健康で長生きすること」 (50代・男性)

「親より先に死なないこと。親の最期を看取ること」 (40代・女性)

### ■ 5位『孫とのふれあい』

「孫を連れて遊びに行く」 (30代・女性)

「孫とふれあう機会を多くつくる」 (40代・男性)

「娘の成長を見守ってもらうこと」 (40代・男性)

### ■ 6位『会話する』

「遠く離れた両親に携帯電話をプレゼントして、2日に1度は30分以上会話」 (40代・女性)

「時間があれば話し相手になり、気持ちを理解してあげること」 (50代・女性)

「毎日、たわいのない会話をすること」 (60代・男性)

### ■ 7位『自立する』 (20代: 2位)

「ひとりの社会人として自立すること」 (20代・女性)

「立派に社会人として独立すること。たまに帰って寿司でも一緒につまむこと」 (40代・男性)

### ■ 7位『同居する』

「一緒に暮らし、買い物に行き、親の面倒を見る」 (20代・女性)

「親と同居して生活の世話をすること」 (30代・男性)

### ■ 9位『面倒をみる』

「困ってるときにそばにいて助けてあげること」 (40代・女性)

### ■ 10位『旅行・レジャー』

「旅行などの楽しい時間を一緒に過ごす」 (40代・女性)

### ■ その他

「日常さりげなく頼り、生き甲斐を持たせてあげる」 (40代・女性)

「親に適当に心配をかけながら、近くにいる時々顔を見せ、話し相手になる」 (50代・女性)

1位『心配させない』に対して、『頼る』『心配させる』ことが親の生き甲斐(親孝行)に繋がるといったユニークな回答もありました。

＜問2＞ あなたの親孝行度は何点ですか？

(以下の点数を目安に 100 点満点で回答)

＜点数の目安＞

0～29 点:ほとんどしていない 30～49 点:あまりしていない 50～79 点:ある程度している 80～100 点:十分にしている

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	東日本	西日本
平均点	49.5	46.4	52.5	43.2	48.2	49.4	52.4	52.0	48.5	51.5
0点 人(%)	202 (10.6)	116 (12.4)	86 (8.8)	17 (14.7)	56 (10.6)	71 (9.6)	38 (10.1)	20 (13.0)	148 (11.5)	54 (8.7)
100点 人(%)	64 (3.4)	39 (4.2)	25 (2.6)	4 (3.4)	11 (2.1)	30 (4.1)	12 (3.2)	7 (4.5)	43 (3.3)	21 (3.4)

◆全体平均は“あまりしていない”の「49.5点」

20代は「43.2点」に対し、50代は「52.4点」と年代別で差

全体の平均は、50点にやや足りない「49.5点」でした。親孝行は十分とは言えない自己評価のようです。

男女別では、男性は“あまりしていない”の「46.4点」に対して、女性は“ある程度している”の「52.5点」という結果で、親孝行に対する意識の違いが見られました。

年代別では、50代が最も高い「52.4点」でした。子育てから解放される一方で親の介護などが現実味を帯びてくる年代なのではないでしょうか。

東西別では、東日本が“あまりしていない”「48.5点」に対し、西日本が“ある程度している”「51.5点」となり、やや差がでる結果となりました。以下、採点の理由を紹介します。

0～29 点：ほとんどしていない

「いつも、何かをしてもらえばかりで返せている実感がないから」(30代・男性)

「もういい年なのに親に心配ばかりさせている」(40代・女性)

「誕生日と母の日くらいしか何もしていない」(40代・男性)

「頭では分かっているけど、なかなか行動にうつせない」(50代・男性)

「反抗期まっさかりのころ親を亡くし、子供を持って、初めて親の気持ちがわかった。今は、生んでくれたことに感謝している」(60代・女性)

30～49 点：あまりしていない

「忙しいことが理由で連絡できていない」(40代・男性)

「就活はしているけれども、内定をもらえていないので」(20代・女性)

「親から与えられている割合に比べ、自分がしてあげていることは比較的少ないので」(40代・男性)

「月命日を忘れることがある」(60代・男性)

「親の力のほうが偉大だから」(30代・女性)

### 50～79点：ある程度している

「母親に対しては75点だが父には25点くらい」（40代・男性）

「親孝行に十分ということはないと思う。良いところ半分か」（50代・男性）

「若い時に心配をかけた」（50代・男性）

「誕生日などはプレゼントをしたり、なるべく電話で孫の声を聞かせたりはしているけど、過去の親不孝度が高いので、なかなか高得点は出せません」（40代・女性）

「大きな病気もせず、元気で生活しているから」（20代・女性）

「頑張っているつもりだが…心配させたり、時々怒らせるので」（40代・女性）

「自分が年をとればとるほど親との関係が仲良くなってきており、良く会って話をしたり、旅行に行ったりしている」（40代・女性）

「親孝行はしているつもりだが、まだまだ親に甘えているところもある」（30代・女性）

### 80～100点：十分にしている

「今はそばにいて最優先で介護している」（30代・女性）

「経済的な負担は一切かけていないところ」（30代・男性）

「私の運転で温泉や買い物に一緒に行ったりしている」（40代・女性）

「生きているときに悔いのない孝行をしたつもり」（50代・男性）

「母の最期を看取ることができた」（60代・女性）

「平凡でも親に迷惑をかけないことが一番と確信している」（70代・男性）

「母から感謝されているが、実は自分の息抜きにもなっている」（50代・女性）

「親が入院した時、毎日欠かさずお見舞いに行くなど常に親孝行してきました。しかし、『もっと何か出来る』という思いから90点にしました」（30代・女性）

「毎日施設に通って話し相手になっている」（60代・男性）

「二人（両親）とも最後まで介護をしましたので悔いはありません」（70代・女性）

### 100点

「いつも感謝の気持ちを忘れていない」（30代・男性）

「頻繁に顔を見せ、旅行にも連れて行き、家業の手伝いもしているから」（30代・女性）

「兄弟夫婦を含め楽しく暮らしている。法事のときなどは、家族全員が集まっている」（50代・男性）

### <問3> あなたの子どもの親孝行度は何点ですか？

(子どものいる方のみ/以下の点数を目安に100点満点で回答)

#### <点数の目安>

0～29点:ほとんどしていない 30～49点:あまりしていない 50～79点:ある程度している 80～100点:十分にしている

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	東日本	西日本
平均点	65.8	63.7	67.9	70.0	70.7	66.5	62.4	63.1	64.7	68.1
0点人(%)	38 (4.2)	20 (4.5)	18 (3.9)	2 (13.3)	13 (7.1)	14 (4.1)	8 (3.3)	1 (0.8)	30 (5.1)	8 (2.6)
100点人(%)	161 (17.8)	73 (16.4)	88 (19.2)	7 (46.7)	56 (30.6)	65 (19.2)	28 (11.5)	5 (4.0)	104 (17.5)	57 (18.3)
サンプル数	904	446	458	15	183	338	243	125	593	311

#### ◆全体では“ある程度している”の「65.8点」

#### 20代・30代では“70点超”の高得点と子どもに甘い!?

子どもからご自身への“親孝行度”を聞いてみたところ、全体平均は「65.8点」でした。問2のご自身から親へと比べて高い得点となりました。特に「100点」満点と答えた割合が、問2が全体3.4%に対して、問3では17.8%と大きな差があり、子どもには甘い親の姿が垣間見えます。

年代別では、20代・30代が70点を超え、40代が「62.4点」と最も低く、問2とは異なる結果となりました。以下、採点の理由を紹介します。

#### 0～29点:ほとんどしていない

「経済的な迷惑をかけられている」(40代・女性)

「親の干渉を嫌って一切寄り付かない」(50代・女性)

「ほとんど会えないので」(60代・男性)

#### 30～49点:あまりしていない

「(子どもが)自分のことに精いっぱい、そこまで気が回っていない」(50代・女性)

#### 50～79点:ある程度している

「まだ自分のことが中心なので。でも存在が親孝行」(40代・女性)

「誕生日、父の日など忘れずに一言連絡してくれる」(40代・男性)

「自身の子どもの時よりよくお手伝いしている」(40代・男性)

「子どもは自分のことのでがんばるのが親孝行」(50代・男性)

#### 80点～100点:十分にしている

「よく感謝の言葉のかかれた手紙をくれる」(30代・女性)

「主人が亡くなってから、同居してくれている」(60代・女性)

「子どもは元気であるだけで親孝行」(50代・男性)

#### 100点

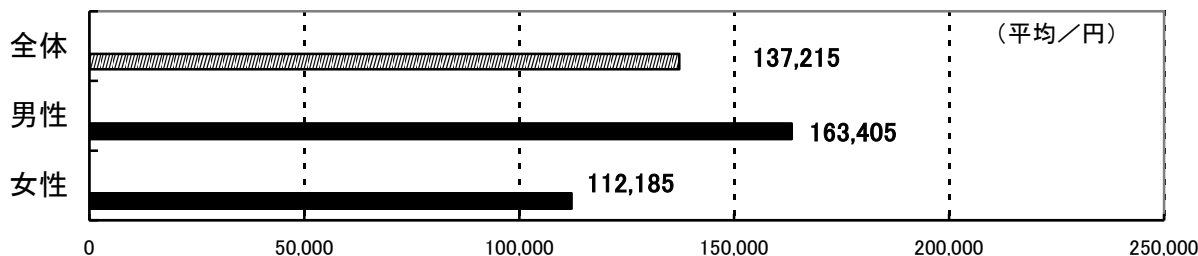
「まだ1歳だが、毎日いろいろな成長を見せてくれる」(20代・女性)

「子供の笑顔だけで親孝行してもらっていると感じる」(40代・女性)

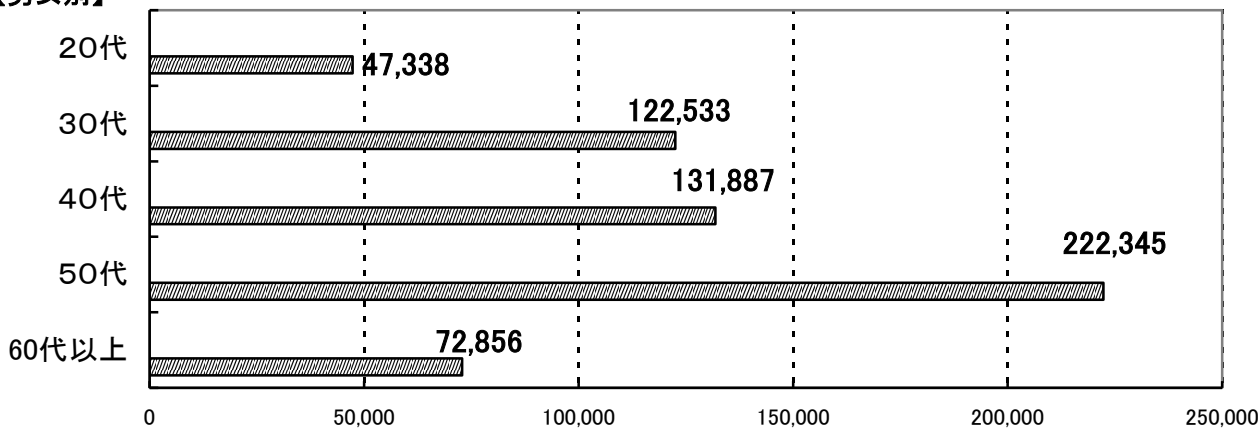
「存在だけで100点。子供に親である自覚をさせてもらっています」(40代・男性)

「それぞれが、親を頼らずちゃんと生活している」(50代・女性)

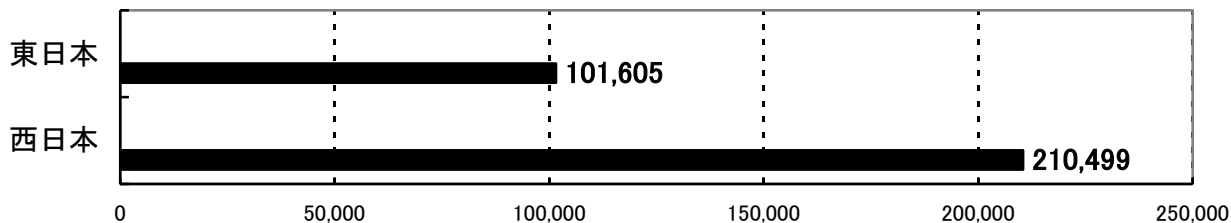
＜問４＞ あなたは、この一年間で親孝行のためにいくら使いましたか？



【男女別】



【東西別】



	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	東日本	西日本
サンプル数	1,899	928	971	116	521	735	374	153	1,278	621
「0円」：%	29.8	35.7	24.1	28.4	23.2	29.8	31.3	49.0	31.0	27.2

※サンプル数は「不明」を除いた回答者数

◆親孝行の費用は年間「13万7,215円」、一方で「0円」も約3割

「0円」から、家購入の「3,000万円」まで幅広い回答が寄せられましたが、全体の平均金額は「13万7,215円」でした。一方で、「0円」を含み、1万円以下と回答した人は全体の約50%となり、お金を使わない親孝行派も多くみられました。

男女別では、男性「16万3,405円」に対して、女性は「11万2,185円」と差が出ました。

年代別では、20代が「4万7,338円」と最も低く、最も高い50代では「22万2,345円」と金額に大きな差がみられ、収入に比例した結果となったのではないのでしょうか。

東西別では、東日本が「10万1,605円」であるのに対して、西日本は「21万4,999円」と大きな差がありました。西日本では家の購入など高額な親孝行が多いことが要因と言えます。



＜問5＞ 問4は、主に何のための費用ですか？（フリーアンサー／複数回答）

※サンプル数(N)は無回答及び「0円」を除いた回答者数

位	全体 (N=1334)	%
1	贈り物	48.8
2	食事	21.5
3	帰省	13.6
4	旅行	12.14
5	お金(援助)	12.07
6	医療費	2.9
7	供養	2.0
8	レジャー	1.0
9	通信費 送迎代	0.8

位	男性 (N=597)	%	女性 (N=737)	%
1	贈り物	45.4	贈り物	51.6
2	食事	19.9	食事	22.8
3	お金(援助)	13.4	帰省	14.5
4	帰省	12.6	旅行	12.1
5	旅行	12.2	お金(援助)	11.0

位	東日本 (N=882)	%	西日本 (N=452)	%
1	贈り物	48.6	贈り物	49.1
2	食事	21.5	食事	21.5
3	帰省	14.5	お金(援助)	14.2
4	旅行	12.7	帰省	11.9
5	お金(援助)	11.0	旅行	11.1

位	20代 (N=83)	%	30代 (N=400)	%	40代 (N=516)	%	50代 (N=257)	%	60代以上 (N=78)	%
1	贈り物	67.5	贈り物	54.8	贈り物	50.4	贈り物	37.0	贈り物	26.9
2	食事	13.3	食事	24.0	食事	20.5	食事	24.1	供養	19.2
3	旅行	9.6	お金(援助)	11.3	帰省	15.5	旅行	16.3	帰省	
4	お金(援助)	8.4	帰省	10.8	旅行	12.0	お金(援助)	15.2	食事	15.4
5	帰省	7.2	旅行	10.5	お金(援助)	11.4	帰省	14.8	お金(援助)	14.1

◆親孝行費の用途は『贈り物』が圧倒的トップ、次いで『食事』『帰省』  
20代は『贈り物』が約半数、60代では『供養』が2位に

全体では『贈り物』が約半数の48.8%で圧倒的トップとなりました。誕生日や父の日、母の日などのシーンでプレゼントを親に贈る方が多いようです。

2位は『食事』21.5%でした。家族揃っての外食や手料理をご馳走するのも親孝行の一つです。

3位は『帰省』13.6%でした。今夏も親孝行で帰省される方が多いのではないのでしょうか。

4位には温泉旅行から海外旅行までの『旅行』12.14%、僅差の5位にはお小遣いや還暦のお祝いなどの『お金(援助)』12.07%が続きました。

男女別では、男女共にトップが『贈り物』、2位『食事』の順となりました。特に、女性では上位2つで74.4%と高い割合を占めています。

年代別では、全ての世代で『贈り物』がトップとなりました。20代では67.5%と約3人に2人の割合で親にプレゼントを贈っているようです。一方、60代以上では墓前へのお供え物やお花代などの『供養』が19.2%で2位にランクインされているのが特徴的です。

東西別では、『お金(援助)』が東日本では5位(11.0%)に対して、西日本では3位(14.2%)と多い割合を占めており、問4での東西差に通じているようです。

＜問6＞ 親孝行をしていそうだと思う有名人は誰ですか？（フリーアンサー）

※敬称略

位	全体／TOP20	票
1	関根麻里	33
2	イチロー	32
3	ベッキー	28
4	綾戸智恵	27
5	芦田愛菜 北野武	17
7	西川きよし 石川遼	15
9	えなりかずき 上戸彩 武田鉄矢	13
12	香川照之（市川中車） 西田敏行 本木雅弘 明石家さんま	9
16	澤穂希 長友佑都 浜口京子 所ジョージ 氷川きよし	8

男性	票	女性	票
イチロー	20	関根麻里	21
北野武	14	ベッキー	16
綾戸智恵	13	綾戸智恵	14
関根麻里 ベッキー	12	西川きよし	13
芦田愛菜	10	イチロー	12
えなりかずき 武田鉄矢	8	上戸彩	9
		石川遼	8

東日本	票	西日本	票
関根麻里	21	イチロー	14
綾戸智恵	20	関根麻里	12
イチロー	18	ベッキー	11
ベッキー	17	西川きよし	10
石川遼	11	綾戸智恵	7
芦田愛菜 北野武 武田鉄矢	10	芦田愛菜 北野武 えなりかずき	
西田敏行	9		

20代	票	30代	票	40代	票	50代	票	60代以上	票
関根麻里	5	関根麻里	13	関根麻里	12	イチロー	10	イチロー	3
ベッキー	4	ベッキー	10	ベッキー		綾戸智恵	9	加山雄三	
森田一義 前田敦子 櫻井翔	2	イチロー	8	綾戸智恵		11	芦田愛菜 西川きよし	5	
		芦田愛菜	6	イチロー	7	西田敏行			
		北野武 石川遼 上戸彩	5	西川きよし 石川遼					

◆1位は『関根麻里』、2位『イチロー』、3位『ベッキー』

全体のトップはタレントの『関根麻里』33票でした。父親でタレントの関根勤と仲良く共演するなど、“理想の娘”というイメージが特に20～40代で多くの支持を得ました。

2位は僅差で大リーガーの『イチロー』32票でした。男性、50代、60代以上で票を集め、グローバルで活躍する“自慢の息子”といったところでしょうか。

3位には、親子でテレビ出演するなど仲が良いイメージの『ベッキー』28票が選ばれ、4位には、実母の介護で話題を呼んだ『綾戸智恵』27票がランクインしました。

トップ20にはタレントからスポーツ選手まで、様々なジャンルの有名人が名を連ねました。

**<問7> 今までで最も喜んでもらえた または、してもらって嬉しかった親孝行のエピソードを教えてください。（フリーアンサー）**

“親子の絆”を強く感じさせる「親孝行」にまつわる様々なエピソードが寄せられました。

以下、代表的なものをご紹介します。

**<感謝の言葉>**

「産んでくれてありがとうって言った時」（50代・男性）

「子どもの卒業式の日、子どもから感謝の手紙をもらった」（50代・女性）

「健康で幸せで過ごしてくれたらそれが一番の親孝行だといわれた」（30代・女性）

「字を覚えてたの息子が『ままいつもありがとう』と手紙をくれた」（30代・女性）

**<父へ>**

「父に手編みのカーディガンをプレゼントしたこと」（40代・女性）

「勤続40年超の職場を退職した父に労いの言葉を伝えたらとても喜んでくれた」（30代・男性）

「父と同じ酒を飲めるようになったこと。周りの人に、いつも話していたらしい」（40代・女性）

「結婚式を挙げた時。父親に私といっしょにバージンロードを歩く経験をさせてあげられた。父は披露宴でオイオイ泣いていた」（50代・女性）

「家業を継いだ」（50代・男性）

「子どもが小さいとき『父ちゃんいつもありがとう』のクリスマスカードを渡してくれた」（40代・男性）

**<母へ>**

「母の日に、母以外の家族全員でこっそり手書きのカードを用意してブローチといっしょにプレゼントした」（30代・女性）

「祖母の形見の着物や反物を母から受け継ぎ、自分が着ている」（40代・女性）

「母との韓国旅行」（40代・女性）

「母の日に買ってあげた服とかバッグは、今でもずっと大事にしていってくれる」（50代・女性）

「何年前か前、初めて子供（息子）が京都旅行に付き合ってくれたこと。嫌々ながらだったでしょうが病気で落ち込んでいた私に気を遣ってくれたのでしょ」（50代・女性）

**<就職、初任給で>**

「無事に就職し、社会人デビューしたこと」（20代・女性）

「大学をちゃんと卒業して、就職して独立したこと」（20代・男性）

「国家試験の合格」（50代・男性）

「初めてもらった給料で、焼肉屋さんに行った」（50代・男性）

「初めての給与で、母の日に鉢植えのカーネーションを送ってくれた」（60代・女性）

**<特別な日のお祝い、サプライズなプレゼント>**

「結婚25周年に姉妹揃ってお祝いの席を設けたこと」（40代・女性）

「内緒で還暦祝いを計画した。温泉地を予約し、思い出アルバムなどを作ってプレゼントしたらことのほか喜んでもらったのが嬉しかった」（30代・女性）

「妹の幼い頃を写した1本の古い8mmビデオテープをDVDに変換してプレゼント。古い映像から記憶が蘇るのか、久々に満面の笑顔でした」（50代・男性）

「子供からスポーツウェアを贈られた時、私の健康を気にしているのかなとホロっときた」 (50代・男性)

「定年退職したときに記念のプレゼントとして家内との旅行券をプレゼントしてくれた」 (60代・男性)

### <孫の誕生、3世代で>

「孫が誕生した時、名前を付けてもらった」 (40代・男性)

「娘の成人式を見せたこと、長生きして良かったと言っていた」 (50代・女性)

「娘の結婚式に参列してもらった・・・孫の花嫁姿を喜んでもらった」 (60代・女性)

「子供、孫が集まって一緒に食事をする。騒がしいことがいいこと」 (50代・男性)

### <入院、そして最期に>

「3年前に他界した父が入退院を繰り返していた時に母を支えていた」 (50代・女性)

「母が入院した時に実家に泊まり込んで父の世話をした」 (50代・女性)

「長期入院で母の足が弱ってきたとき、歩行介助や通院介助をした時は『（自分が）情けない…』と言いながら喜んでいました」 (50代・女性)

「親の最期の時、手を握ってじっと私のことを見ていた」 (50代・男性)

### <小さかった頃に…>

「小学校の運動会で2等になった時。母親がかなりエキサイティングしていた」 (50代・女性)

「小さいときに遅くまで働いていた親に宛てて感謝の手紙を書いた」 (30代・男性)

「幼稚園でつくった湯のみを未だに大事に使っている」 (30代・女性)

「クラブ活動で活躍したこと」 (50代・男性)

「子どもの頃に七宝焼きで作ったネクタイピンを父がずっと大切にしてくれて、私の結婚式につけてきてくれた」 (40代・女性)

「子どもが小さいときに肩たたき券を作ってくれて、肩をもんでくれたこと」 (50代・女性)

「子どものころの笑顔や、思い出が一生分の親孝行だと思っている。これからは自分の人生を自分のために切り拓いて生きて行ってくれればそれで十分」 (40代・女性)

「親孝行」の形、考え方は人それぞれですが、親を思う気持ちは一緒であることがアンケートを通じてうかがえました。“親孝行したいときには親はなし”ということもあります。今年の夏休みは、思い切り「親孝行」をする！！というのも素敵な過ごし方の一つではないでしょうか。

以上